



第1回 (10/10) 長崎大学経済学部 准教授 山口純哉



愛媛県松山市生まれ。神戸商科大学（現兵庫県立大学）経済学研究科博士後期課程単位取得退学。2000年4月、長崎大学経済学部に着任。専門は地域経済学（産業集積論、ソーシャルビジネス、震災復興）。地域における人々の暮らしが豊かに続くためには、社会性を有する企業やNPOの存在が欠かせないとして、本講座を企画。地域経済・社会のあり方を体系的に検討している。著書に『東日本大震災 復興の正義と論理』（共著）クリエイツかもがわ（2014）など。

第2回 (10/17) 特定非営利活動法人宮崎文化本舗 副代表理事 井上優氏



宮崎県宮崎市生まれ。大学で日本史を専攻した後、中堅の印刷会社で商品開発・企画を担当し、プリペイド・カードや磁気キップ等の製品化・実用化を担当。30歳で宮崎に戻り保育所経営を行った後に、コミュニティ・シンクタンクを立ち上げ市民活動を実践。他に一般社団法人カルチベイ代表理事、NPO法人iさいと代表理事、一般社団法人ユニバーサル支援社会創造センター理事、みやざきNPO・協働支援センター&宮崎県地球温暖化防止活動推進センター責任者など。音楽（JAZZやPOP）・文学・芝居・映画が大好きな（ちょい悪）2親父（娘談）。

第3回 (10/24) 株式会社eumo 代表取締役社長 新井和宏氏



1968年生まれ。東京理科大学工学部卒。住友信託銀行（現・三井住友信託銀行）、パークレイズ・グローバル・インベスターズ（現・ブラックロック・ジャパン）にて資産運用の業務に従事。2008年11月、志を同じくする仲間4人と、鎌倉投信株式会社を創業し、経済的指標に加えて社会性も重視する投資信託「結い2101」の運用責任者として活躍。2018年8月に鎌倉投信の取締役を退任し、同年9月に「共感資本社会」の実現を目指して、共感資本の可視化定量化及び、その増大を支援する社会インフラを創造するために、株式会社eumoを設立。主著に『投資は「きれいごと」で成功する』ダイヤモンド社（2015）、『持続可能な資本主義』ディスカヴァー・トゥエンティワン（2017）、『幸せな人は「お金」と「働く」を知っている』イースト・プレス（2017）。その他、横浜国立大学経営学部非常勤講師、特定非営利活動法人「いい会社をふやしましょう」理事など。

第4回 (10/31) IKEUCHI ORGANIC株式会社 代表 池内計司氏



1949年、愛媛県今治市生まれ。一橋大学商学部を卒業し、松下電器産業（現パナソニック）に入社。その後、1983年に池内タオルに入社し、2代目代表取締役社長に就任。1999年には「最大限の安全性と最小限の環境負荷」をコンセプトに掲げ、オーガニックコットンにこだわった自社ブランド「IKT」を立ち上げ、2002年には、製品の質はもちろん、製造工程における環境保全への取り組みが評価されてニューヨークのホームテキスタイルショーでグランプリを獲得。2003年、メディアに注目された「風で織るタオル」の販売を開始するも、取引先の倒産から経営状況が悪化し、民事再生法の適用を申請（2007年に民事再生手続き終了）。その後、タンザニアにおけるオーガニックコットンの栽培を促すとともに、東京、京都、福岡に直営店をオープンし、上記コンセプトを農家から消費者にまで徹底。2014年には、タオルの製造販売にとどまらないトータルオーガニックライフスタイルカンパニーへの移行にあわせて、社名を「IKEUCHI ORGANIC」に変更。2016年、同社社長から代表へ。

第5回 (11/7) NPO法人起業支援ネット 代表理事 久野美奈子氏



民間企業にて人事（採用・社員教育他）、営業に従事したのち、2002年よりNPO法人起業支援ネット勤務。2009年より代表理事。コミュニティビジネス・身の丈の起業を学ぶ「起業の学校」の運営や各種講座・セミナーなど、創業支援、事業活動の運営支援を行っている。また、様々な困難・課題を抱えた子ども・若者の総合相談窓口である「名古屋市子ども・若者総合相談センター」事務局長、「名古屋市子ども・子育て支援センター」コーディネーターも務める。